

知財創造研究分科会活動計画

1. 活動の目的

知財創造の分野へのTRIZの適用方法や事例についての研究を行い、知財創造の実務へのTRIZの適用に関するガイダンスを作成して、これを公開することで知財創造活動を推進するとともにTRIZの普及・発展に寄与する。

2. 研究内容の詳細

知財創造の実務に役立つ以下のような個別テーマ毎の実践的なガイダンスを作成することを研究の主たる目的とし、知財創造に関連する知財保護、知財活用等に関するテーマについての研究を従たる目的とする。

(1) 知財創造の分野

- ① 特許情報から発明情報を抽出する等価変換理論等による意味解析
- ② TRIZによる解決コンセプトから出願発明を完成する発明創造
 - a. 特許請求の範囲の作成技術
 - b. 発明の詳細な説明の作成技術

当初の研究テーマ

(2) 知財保護の分野

- ① 出願発明を特許発明にするための中間処理技術
- ② 知財裁判例に基づいた特許の有効性判断技術および技術的範囲の解釈技術

(3) 知財活用の分野

- ① 知財の流通を促進するための技術移転、事業化の推進技術
- ② 特許技術のビジネスプラン作成技術

(4) 知財管理全般

- ① 特許啓蒙、特許リエゾンの推進技術
- ② 知財戦略策定技術

3. 運営メンバー等

(1) 主査候補：長谷川

(2) 参加予定者（当初の予定者）

→第2回TRIZシンポジウムで参加希望をされた方

→知財創造実務研究会（長谷川が主宰している勉強会で、TRIZコンパニオンの翻訳実績有り）のメンバー

以上